

TripMate850

日本語ユーザーマニュアル



2009年12月5日発行

注意と警告

- 本機器は単四電池 2 個を使用します。本機器を-10℃以下あるいは 60℃以上の温度下で使用されると、電池を早く消耗する場合がございます。60℃を超えるような場所に本機器を置かないでください。もしそのような場所に置いた場合、電池が発熱し、爆発など重大な被害を与える原因になります。
- 病院内では本機器の電源をお切りください。ワイアレス GPS 受信機は医療機器に対して混信を引き起こす可能性があります。
- 長期間本機器を使用しない時は電池を取り外してください。
- 安全のため、本機器およびすべてのアクセサリ類を小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
- メーカーは本機器の仕様による電池の消耗、または製品の誤用から生じるいかなる損害賠償、損失に対して一切責任を負いません。
- 本機器付属またはメーカーに承認されたアクセサリのみを使用してください。承認されていないアクセサリ、アンテナ、改造は本機器の破損、あるいは無線装置に関する規則に違反する可能性があります。
- 本機器を清掃するときはきれいで柔らかな乾いた布を使用してください。洗濯用洗剤、化学物質、強い洗剤を使用しないでください。
- 本機器を分解しないでください。メーカーに認められていない分解行為は本機器の破損や、保証が無効になる可能性があります。

目次

Chapter1. ご使用の前に.....	5
1.1 はじめに.....	5
1.2 特徴.....	5
1.3 仕様.....	6
1.4 各部説明.....	7
1.5 アクセサリー.....	7
Chapter2. ご使用について.....	8
2.1 電源 ON/OFF.....	8
2.2 主な流れ.....	8
2.3 フローチャート.....	9
2.4 アイコン説明.....	10
2.5 機能説明.....	11
2.5.1 バッテリー、衛星、ログメモリモード.....	11
2.5.2 時間モード.....	11
2.5.3 位置モード.....	12
2.5.4 速度と方向モード.....	12
2.5.5 距離測定モード.....	12
2.5.6 設定モード.....	13
2.5.6.1 言語設定.....	13
2.5.6.2 ログモード設定.....	14
2.5.6.3 スマートログ設定.....	15
2.5.6.4 ログ管理設定.....	16
2.5.6.5 単位設定.....	16
2.5.6.6 バックライト設定.....	17
2.5.6.7 センサー設定.....	17
2.5.6.8 ログファイルサイズ設定.....	18
2.5.6.9 初期の設定.....	18
2.5.7 携帯用端末との接続.....	19
2.6 Tips.....	22
Chapter3. GPS の設定.....	23
3.1 GpsView ソフトウェア.....	26
3.1.1 GpsView の使用方法.....	26
3.1.2 AGPS ダウンロード.....	28
Chapter4. Photo Tagger ソフトウェアの使用.....	26
4.1 Photo Tagger ソフトウェアの実行とインストール.....	30
4.2 Google Earth.....	30
4.3 ソフトの使用方法.....	26
付属 A. Locr GPS Photo.....	27
付属 B. 証明について.....	28
付属 C. 保証情報.....	29

Chapter1. ご使用の前に

1.1 はじめに

TripMate850は一体型のコストパフォーマンスに優れた携帯用GPSデータロガーであることを特徴としています。海外などに旅行するとき本機器は時間、距離、スピードの記録条件でルートを記録することができます。

本機器は1インチ液晶ディスプレイ搭載で、リアルタイムに移動速度、距離の計測や位置情報やすべてのメッセージをいつでもスクリーンで見ることができます。

ユーザーフレンドリーなユーティリティソフトウェアを使用して、写真や記録したルートを結合して地図に表示することができます。小型で頑丈で、ルート追跡や登山、フリート管理等どこにでも持ち運んで活用するのに最適です。

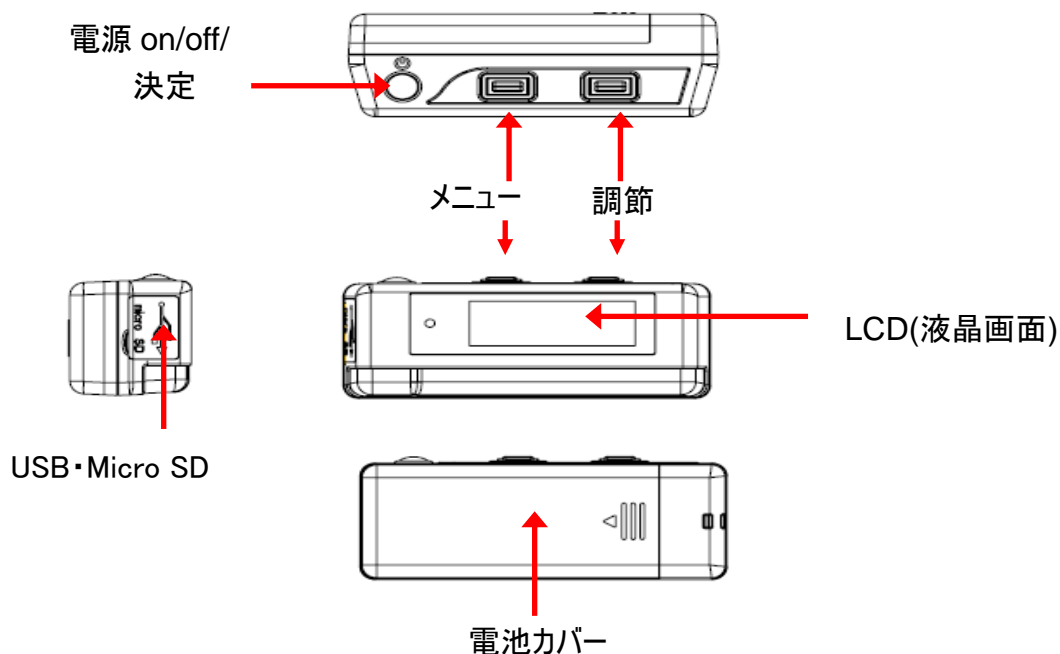
1.2 特長

- ◎ MTK 3329 チップ
- ◎ スマートログ機能
- ◎ GPSレシーバーとGPSデータロガーのデュアル機能設計
- ◎ トラックバック機能(登録地点へ再訪)
- ◎ 振動センサー搭載による節電
- ◎ Micro SD カードでの制限のない保存
- ◎ 見やすい1インチLCD搭載
- ◎ AGPSサポート
- ◎ 電源に単四電池2個

1.3 仕様

一般			
周波数	L1,1575.42MHz	C/A コード	1.023Mhz
測地系	WGS84		
パフォーマンス			
位置精度	単独測位: 3.0m 2D-RMS	速度精度	単独測位: 0.1m/秒
	3m CEP(50%) SA なし		DGPS(WAAS,EGNOS,MSAS): 0.05m/秒
	DGPS(WAAS,EGNOS,MSAS): 2.5m	加速	単独測位: 最大 4g
タイミング精度	50ns RMS		DGPS(WAAS,EGNOS,MSAS): 最大 4g
再捕捉時間	1 秒以下	ホットスタート	1.5 秒
ウォームスタート	34 秒	コールドスタート	35 秒
AGPS	15 秒以下	感度	捕捉時: -148dBm Max.
更新レート	1Hz		トラッキング時: -165dBm Max.
活動限界			
高度	最大 18,000m	加速	最大 4g
速度	最大 515m/秒		
電源			
作動時間	約 12 時間	電源	単四電池 2 個
I/O			
ボーレート	115200 bps	出力形式	NMEA 0183 v3.01
LCD(液晶画面)			
サイズ	28 x 8.5mm	画素	128 x 32 pixel
環境			
動作温度	-10°C ~ 50°C		
インターフェース			
USB Bridge	USB2.0 対応	Bluetooth	Bluetooth Version1.2 Class II に完全対応 0dBm (Typical), Class II
	12Mbps		
SD	Micro SD カード		Serial Port Profile(SPP)
			2.4GHz~2.4835GHz ISM Band
その他			
重量(g)	57.5g(電池含む)	大きさ	72x27x25mm
	36.5g(電池含まない)	NMEA	GGA,GSA,GSV,RMC

1.4 各部説明



1.5 アクセサリー

このたびは、TripMate850をお買い上げいただきありがとうございます。本機器をご使用になる前に、以下の内容物が同封されているかご確認下さい。内容物が破損している、または含まれていない場合はお買い上げいただいた販売店へ連絡してください。

- ◎ Mini USB ケーブル x1
- ◎ 単4電池 x2
- ◎ クイックスタートガイド x1
- ◎ ストラップ x1
- ◎ Micro SDカード1G x1 (本機器に内蔵・マニュアル・ユーティリティソフトもカードの中に入っています。)

*予告なく製品内容物に変更になる可能性があります。

Micro SD card 対応表

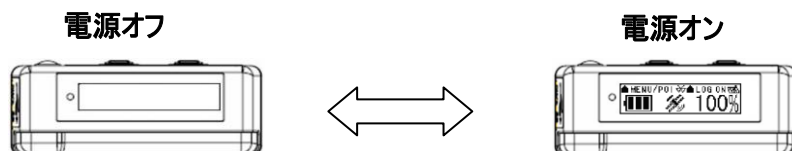
2G : Lexar、KINGMAX、Apacer
4G : Apacer、KINGMAX
8G : Apacer

Chapter2. ご使用について

2.1 電源on/off

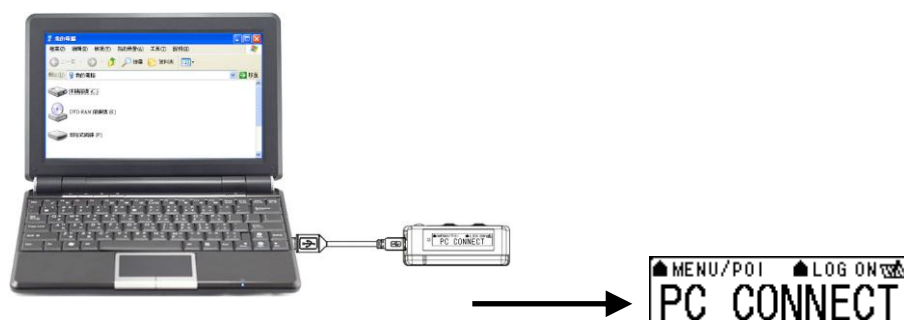
データをログするため本機器の電源入力の前に、本機器にMicro SD カードが挿入されているか確認してください。

“電源”ボタンを 3 秒間押してください。液晶画面にバッテリー、衛星、ログメモリーステータスが表示されます。


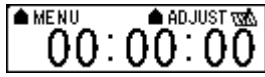
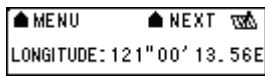
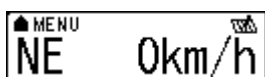
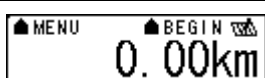




本機器を PC または Laptop と USB 接続するときは、USB2.0 のマストレージデバイス(Windows2000 以降、Mac v8.5 以降の OS に対応)として動作し全ての機能が動作を停止します。

USB 接続での GPS マウス機能をサポートしません。USB ケーブルを通して、充電はしません。ログデータをダウンロードすることのみできます。

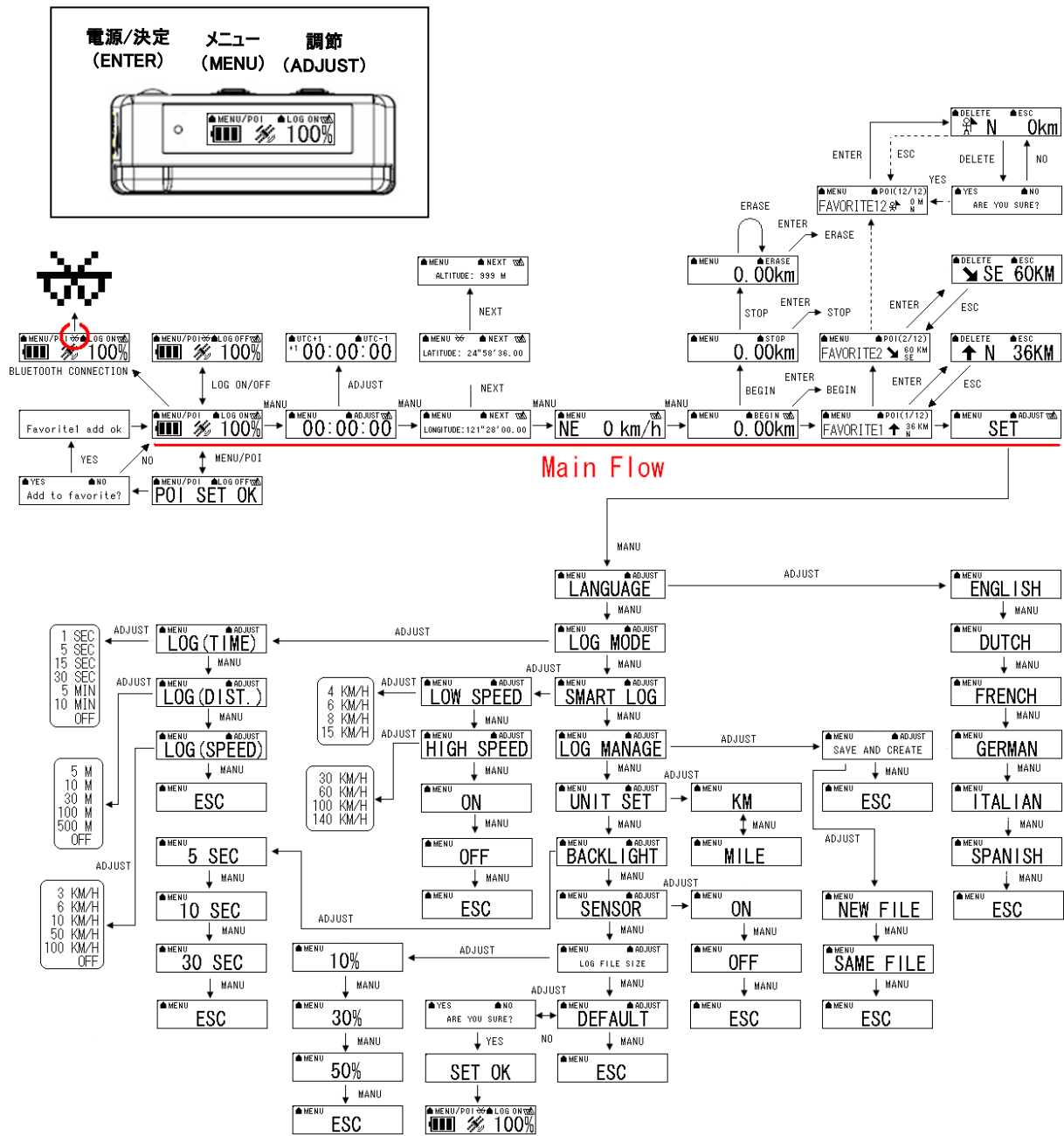


2.2 主な流れ

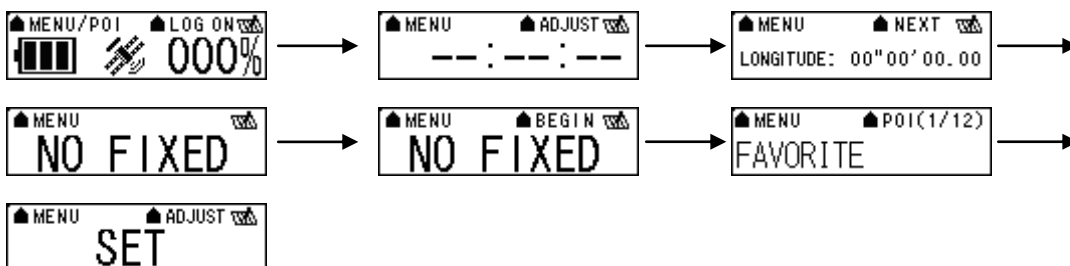
	バッテリー、衛星、ログメモリモード
	時間モード
	位置モード
	速度/方向モード
	距離測定モード
	トラックバックモード(登録した位置への再訪)
	設定モード

2.3 フローチャート

メニュー項目の選択を確定するには“決定”ボタンを押してください。



詳細情報には、2.5 節での機能説明をご参照ください。本機器が位置測位されない場合、スクリーンは下図のように表示されます。



もし Micro SD カードが本機器に挿入されていない場合、ログデータを保存することができません。スクリーンは下図のように表示されます。

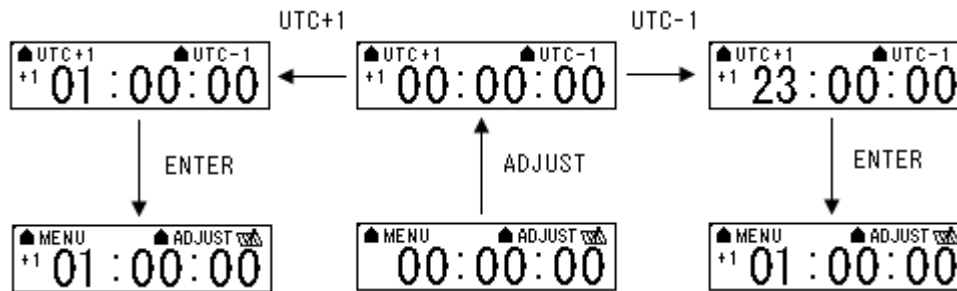
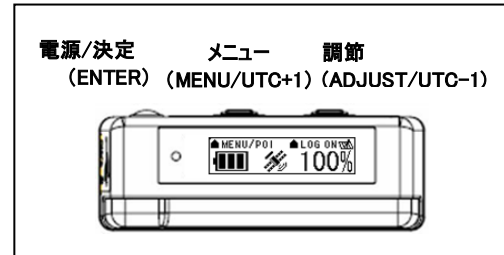


[注意] 本機器は SD カードが内蔵された状態で大量のデータ保存装置として使用できます。

2.4 アイコン説明

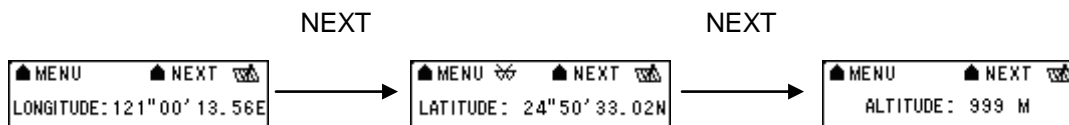
アイコン	カテゴリ	ステータス	機能
	ログ	点灯	機器はログモードではありません。
		点滅	ログ中。
	BLUETOOTH	消灯	Bluetooth 機器と接続されていません。
		点滅	Bluetooth 機能が ON でデータ伝送されています。
	衛星	点灯	GPS は捕捉されていません。
		点滅	GPS 捕捉中, スマートフォンナビゲーション準備。
	電源	点灯	電池残量がフルの状態です。
	電源	点灯	電池残量が少ない状態です。
	スマートログ	点灯	スマートログ機能を始めます。
		消灯	スマートログ機能を終了します。
	到着	点灯	あらかじめお気に入り(Favorite)として登録した POI 地点に到着しました。 (Favorite1~Favorite12 の 12 点を登録可能。)

2.5.2 時間モード



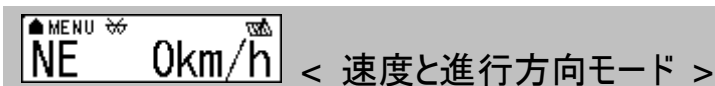
機能	ボタン	詳細説明
時間調節	調節 > UTC+1 or UTC-1 > 決定	時間モードは GPS エフェメリスから受信される UTC 時間を使用しています。手動で設定することもできます。“調節”ボタンを押した後、画面に“UTC+1”または“UTC-1”と表示されます。時間を正しく調節後“決定”ボタンを押してください。日本時間は“UTC+9”に設定します。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。

2.5.3 位置モード



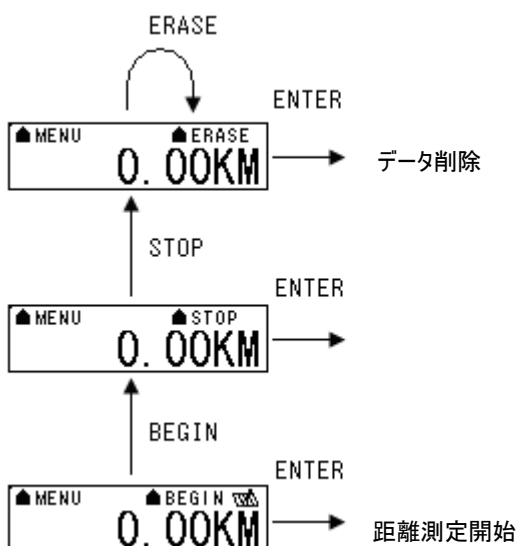
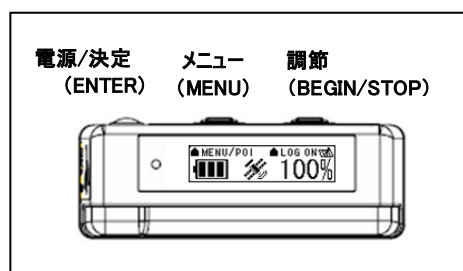
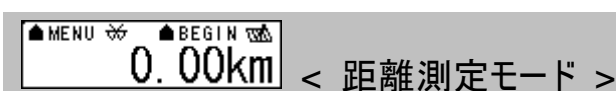
機能	ボタン	詳細説明
位置情報		GPS が捕捉されると、画面に緯度と経度の情報が表示されます。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目へ移行します。

2.5.4 速度と方向モード



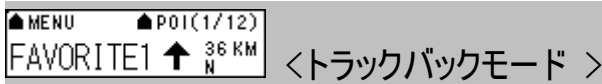
機能	ボタン	詳細説明
速度と方向		このモードでは、現在の進行方向と速度が表示されます。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。

2.5.5 距離測定モード



機能	ボタン	詳細説明
距離測定開始	BEGIN > 決定	調節"ボタンで "BEGIN"を選択し、"決定" ボタンを押すと距離測定を開始します。
距離測定終了	STOP > 決定	調節ボタンで "STOP"を選択し、"決定" ボタンを押すと距離測定を終了します。
データ削除	ERASE > 決定	調節ボタンで"ERASE"を選択し、"決定" ボタンを押すと、測定された距離データが削除され画面には0が表示されます。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押して次の項目に移行します。

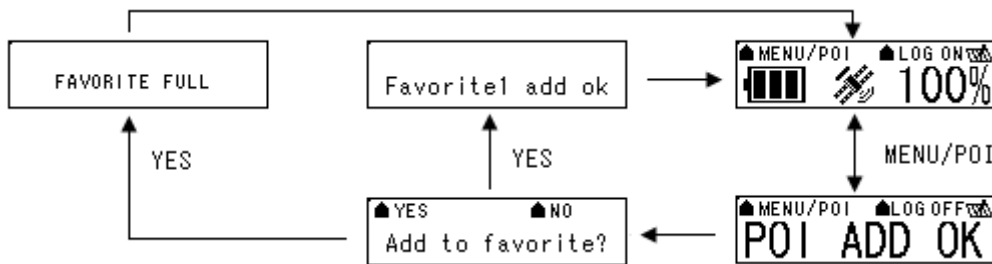
2.5.6トラックバックモード



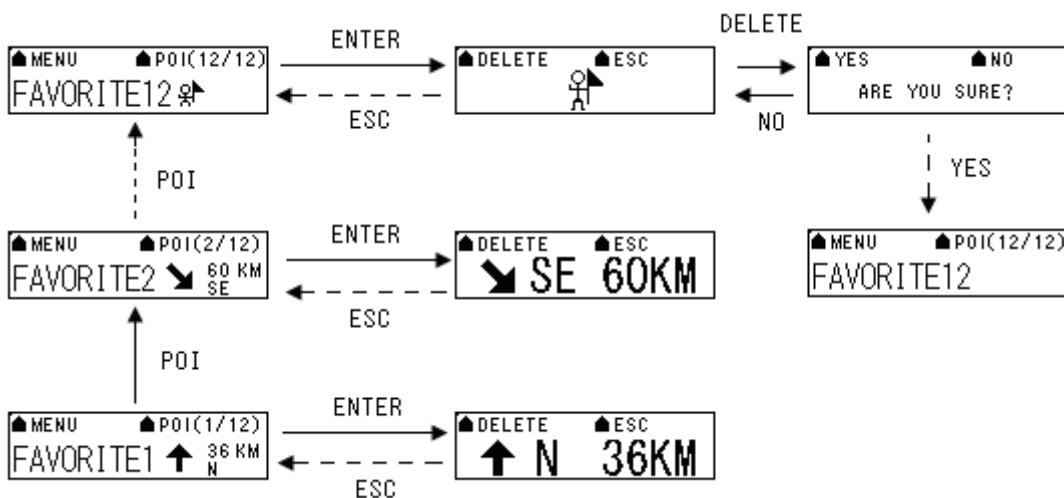
このモードでは、本機器は POI 登録された地点に再訪することができます。POI リストに記録された Favorite ポジションへの方向を矢印であらわし、POI 地点までの距離を表示します。

新しい POI 地点を記録させる場合は、メインページの画面で“メニュー/POI”ボタンを 3 秒間押すと、本機器は POI を記録して“POI SET OK”と表示されます。“Add to favorite?”と表示された後に、“YES”または“NO”を選択します。“YES”を選択すると POI を 12 点のうちのひとつとして記録し POI リストの中に Favorite ポジションとしてセットされます。“NO”を選択すると、本機器はメイン画面に戻ります。

Favorite ポジションは 12 点まで保存可能です。12 点以上保存しようとする、画面には“FAVORITE FULL”と表示されます。それでも新しい点を追加したい場合は、12 点の中のどれか 1 点を削除し登録スペースを開放すると新しい点を登録できます。



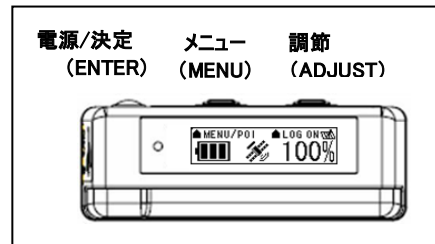
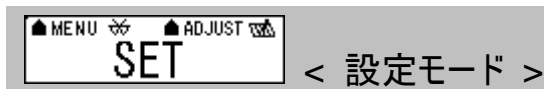
さらに、POI 地点に再訪したい場合は、“POI ポジションモード”へ行って再訪したい POI ポイントを選択します。POI 地点にたどり着くと、画面に“📍”マークが表示され到着したことを知らせます。



[注意]POI 地点までの距離は最長 9999Km まで表示が可能です。したがって、現在地から POI ポジションまでの距離が 9999Km より長い場合は、本気は 9999Km と表示されます。

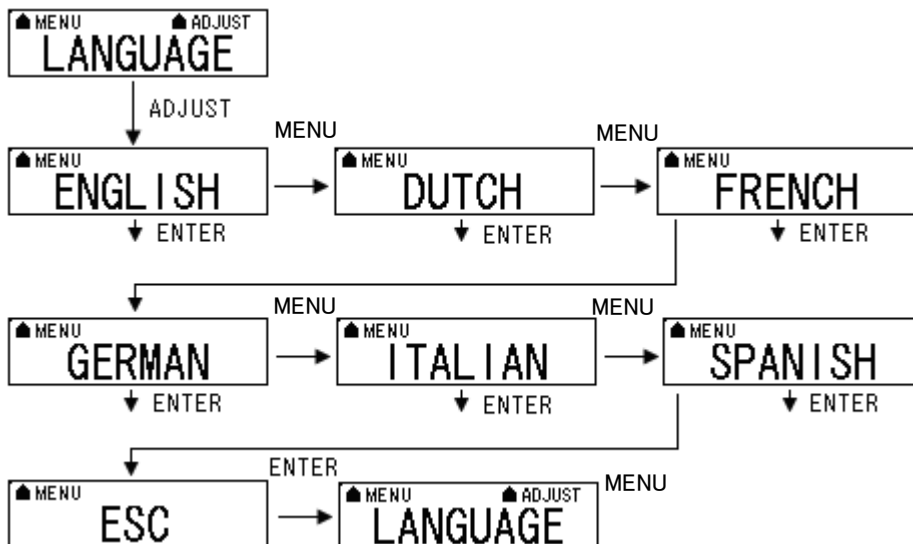
機能	ボタン	詳細説明
POI への再訪モード	POI (* / 12) > 決定	“POI (* / 12)” ボタンを押して登録された地点を選択できます。 続いて“決定” ボタンを押すと文字が大きく見やすい表示になります。
POI 地点を削除	POI (* / 12) > 決定 > DELETE	このモードで任意の POI 地点を削除できます。
次のセクションへ	メニュー	Press “MENU” button to next section. “メニュー” ボタンを押すと次のセクションへ移動します。

2.5.7 測定モード



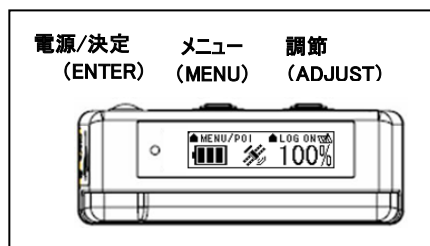
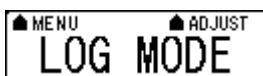
機能	ボタン	詳細説明
詳細設定	調節	“調節” ボタンを押して設定モードを選択してください。“SET”モードでは、“LANGUAGE”, “LOG MODE”, “SMART LOG”, “LOG MANAGE”, “UNIT SET”, “BACKLIGHT”, “SENSOR”, “LOG FILE SIZE”, “DEFAULT”, があり、詳細設定をすることができます。
次の項目へ	メニュー	“メニュー” ボタンを押すと次の項目に移行します。

2.5.7.1 言語設定



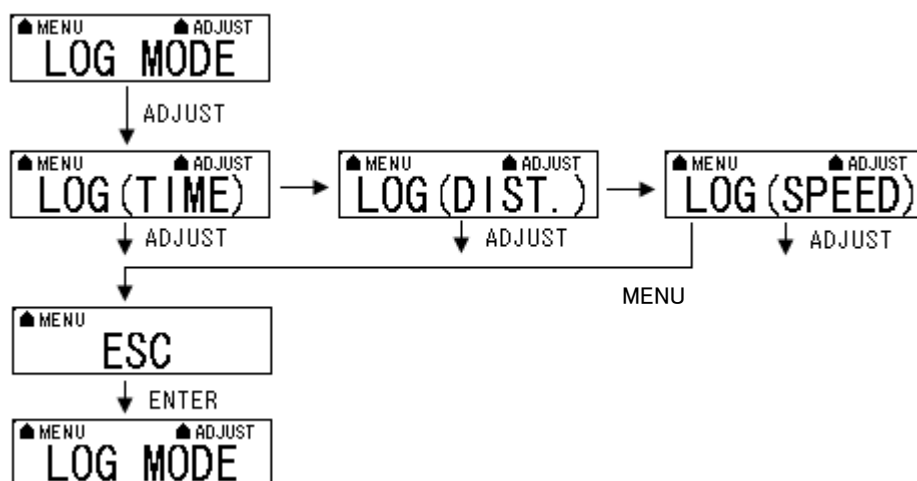
機能	ボタン	詳細説明
言語設定	調節 > メニュー(言語を選択) > 決定	“調節” ボタンを押してから、“メニュー” ボタンを数回押し希望の言語を表示させます。“それから”決定” ボタンを押すと、その言語が 3 回点滅して確定します。 (初期設定: ENGLISH)
次の項目へ	メニュー	“メニュー” ボタンを押して次の項目に移行します。
トップに戻る	メニュー (ESC へ) > 決定	“ESC” の項目で“決定” ボタンを押すと、“LANGUAGE” モードに戻ります。

2.5.7.2 ログモード設定



ログモードではログ基準を時間、距離、スピードの条件で設定できます。

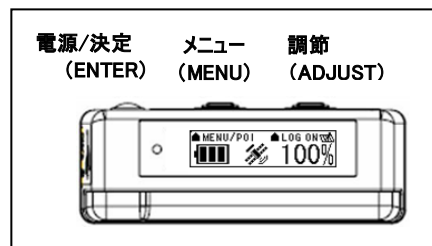
“調節”ボタンを押し、異なったログ基準を選択するには“メニュー”ボタンを押ししてください。選択を確定するには、“決定”ボタンを押ししてログ基準を保存します。初期設定: LOG (TIME)、1 秒に 1 回。



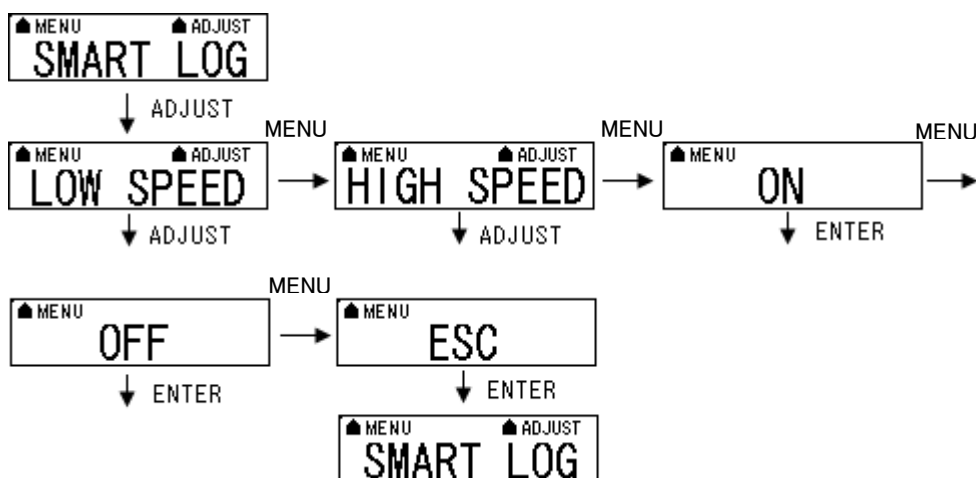
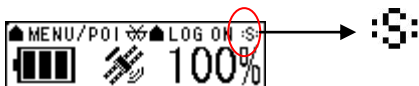
機能	ボタン	詳細説明
時間でログ	調節 > 決定	時間ログモードでは、本機器は 1 回のログにつき 1 秒/5 秒/15 秒/30 秒/5 分/10 分おきの 6 種類のオプションからログ間隔を設定できます。“決定” ボタンを押しして選択を確定してください。初期設定: 1 秒おき
距離でログ	調節 > 決定	距離ログモードでは、本機器は 1 回のログにつき 5 メートル/ 10 メートル/30 メートル/ 100 メートル / 500 メートルごとの 5 種類のオプションからログ間隔を設定できます。“決定” ボタンを押しして選択を確定してください。初期設定: オフ
速度でログ	調節 > 決定	速度ログモードでは、本機器は 3km/h / 6km/h / 10km/h 50km/h / 100km/h の 5 種類のオプションから設定できます。“決定” ボタンを押しして選択を確定してください。設定した速度を超えたときに 1 度ログします。初期設定: オフ
トップに戻る	メニュー (ESC へ) > 決定	“ESC” の項目で“決定” ボタンを押すと、“LOG” モードに戻ります。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。

[注意]本機器 (TripMate850) は 5Hz ログ機能をサポートしていません。

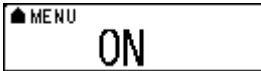
2.5.7.3 スマートログ設定



スマート機能がオンにされると、本機器は時速に依存して異なる方法でログを取得します。



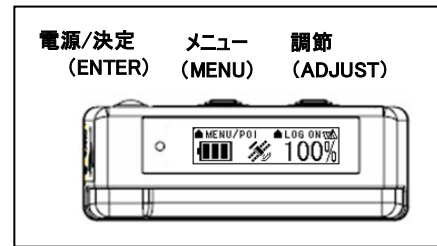
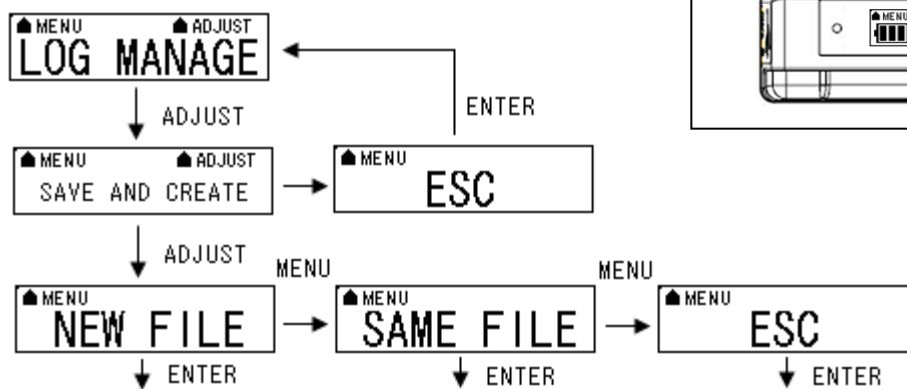
機能	ボタン	詳細説明
低速	メニュー (LOW SPEED ^) > 調節 > 決定	低速では、“調節”ボタンを押し、そして“メニュー”ボタンを押し、時速 4km, 6km, 8km, 15km から選んでください。“決定”ボタンを押すと選択を確定します。初期設定：時速 4km
高速	メニュー (to HIGH SPEED) > 調節 > 決定	高速では、“調節”ボタンを押し、そして“メニュー”ボタンを押し、時速 30km, 60km, 100km, 140km から選んでください。“決定”ボタンを押すと選択を確定します。初期設定：時速 30km
スマートログ機能を開始する	メニュー (ON ^) > 決定	画面に“On”と表示されている時に“メニュー”ボタンを押します。本機器はスマートログ機能を開始し、画面に右上隅に“S”アイコンが表示されます。初期設定：オフ
スマートログ機能を停止する	メニュー (to OFF) > 決定	画面に“Off”と表示されている時に“メニュー”ボタンを押します。機器はスマートログ機能を停止します。
トップに戻る	メニュー (ESC ^) > 決定	“ESC” の項目で“決定” ボタンを押すと、“SMART LOG” モードに戻ります。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。



LOW SPEED を 6km/h, High SPEED を 60km/h とし、“ON” を選択して“決定” ボタンを押した場合、次の表のとりのログ間隔となります。

～6km/h で移動のとき	15 秒につき 1 回ログ
6km/h ～ 60km/h で移動のとき	10 秒につき 1 回ログ
60km/h で移動のとき	5 秒につき 1 回ログ

2.5.7.4 ログ管理



新しいトラックを作成する場合、“調節”ボタンを押して“保存と作成”することができます。“保存と作成”モードには、二つのオプションがあります。



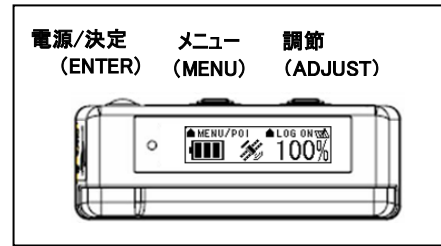
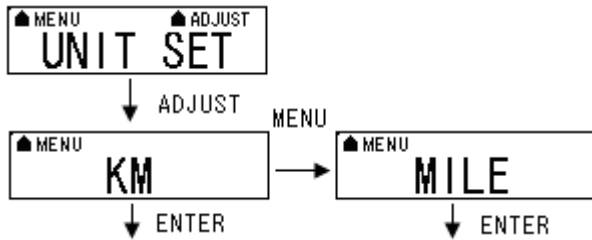
→ 現在のトラックを保存し、新しいファイルにトラックを作成します



→ 現在のトラックを保存し、新しいトラックは同じファイルに追加して保存されます。そして本機器はログを停止します。

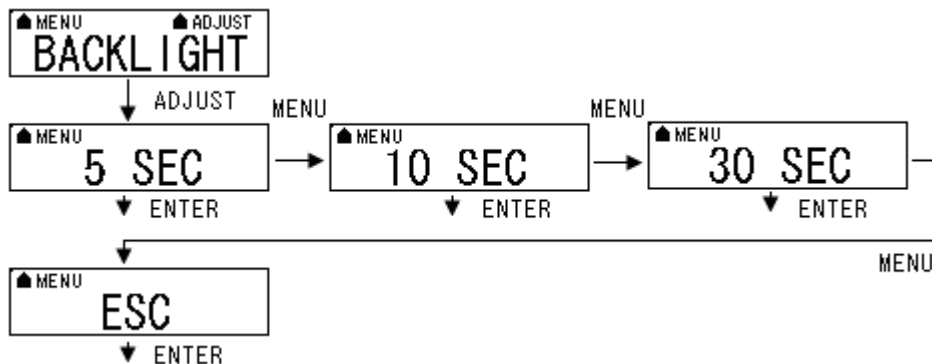
機能	ボタン	詳細説明
あたらしいトラックを別ファイルに作成し保存する。	調節> 調節(“NEW FILE”へ)> 決定	“SAVE AND CREATE”モードでは、“調節”ボタンを2回押すと“NEW FILE”と表示されます。“決定”ボタンを押すと現在のトラックを保存し、新しいトラックファイルを作成します。
あたらしいトラックを作成し同じファイルに保存しログを停止する。	調節 > 調節 > メニュー(SAME FILE へ)> 決定	“SAME FILE”モードでは、現在のトラックは同じファイルに追加して保存され、ログを停止します。“決定”ボタンを押してください。
トップに戻る	メニュー (ESC へ)> 決定	“ESC”の項目で“決定”ボタンを押すと、“LOG MANAGE”モードに戻ります。

2.5.7.5 単位設定



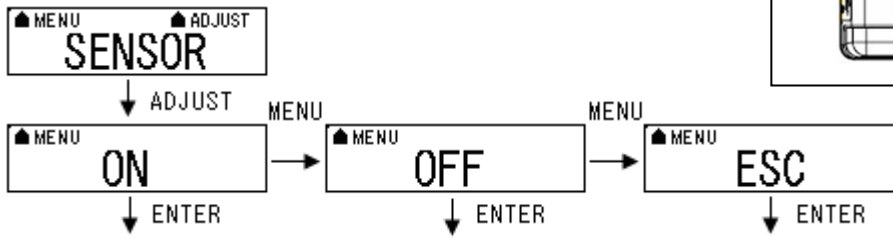
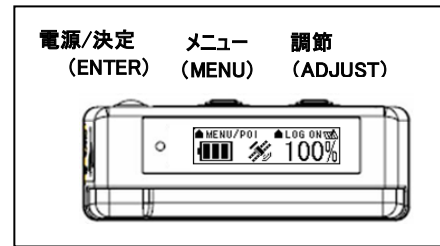
機能	ボタン	詳細説明
単位の設定	調節 > メニュー (KM または MILE を選択) > 決定	“Unit setting”モードでは、“調節”ボタンを押し、“メニュー”ボタンを押して 機器の測定単位として“KM” または “MILE”を選択してください。“決定”ボタンを押すと選択を確定し、機器は“Unit setting”モードに戻ります。初期値: KM
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。

2.5.7.6 バックライトの設定



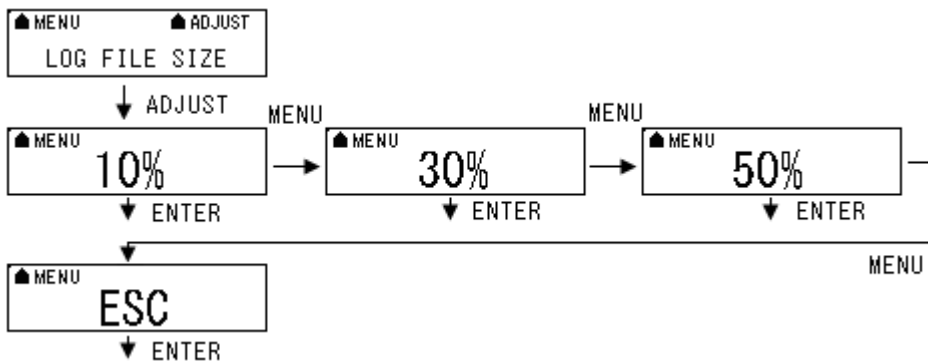
機能	ボタン	詳細説明
バックライト設定	調節 > メニュー (to 5 SEC, 10 SEC、30 SEC から選択) > 決定	“調節”ボタンを押し“メニュー” ボタンでバックライトの時間設定をしてください。バックライトの点灯時間を 5 秒/10 秒/ 30 秒間で設定できます。“決定”ボタンを押すと選択を確定し、設定モードに戻ります。初期値: 5 秒。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。

2.5.7.7 センサー設定



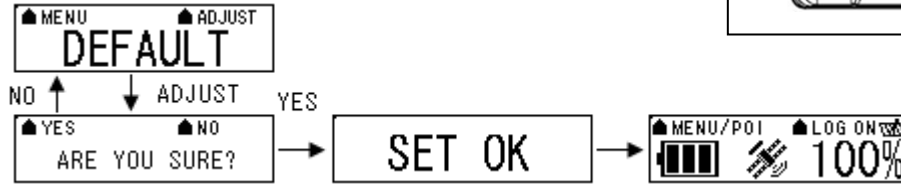
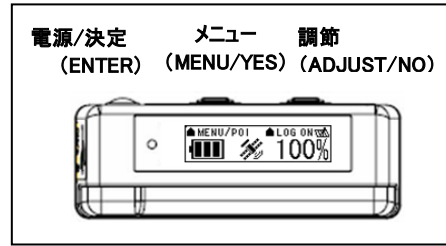
機能	ボタン	詳細説明
バイブレーションセンサー設定	調節 > メニュー (to ON or OFF) > 決定	“調節”ボタンを押し、“メニュー”ボタンで“On”か“Off”を選択してバイブレーションセンサーを設定してください。“決定”ボタンを押すと選択を確定します。センサー機能をONにすると、10分間本機器が動作していなければ機器は省電力モードとなり、画面表示とログが止まります。機器が再び動作すると、ログも始まります。初期値:ON
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。

2.5.6.8 ログファイルサイズの設定



機能	ボタン	詳細説明
メモリサイズ設定	調節 >メニュー (10%, 30%, 50%へ) > 決定	“調節”ボタンを押して“メニュー”ボタンで選択してください。ログデータ保存に使われる全メモリサイズのうちの10%, 30%, 50%から設定できます。“決定”ボタンを押して選択を確定します。初期値:50%
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。

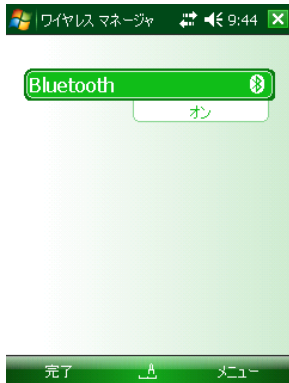
2.5.6.9 初期の設定



機能	ボタン	詳細説明
初期設定に戻す	調節> YES or NO	“調節”ボタンを押してください。“ARE YOU SURE?”と表示されます。 “YES”を選択すると本機器は初期設定にリカバーし“SET OK”と表示されて、電源、衛星、ログメモリモードに戻ります。“NO”を選択すると、元の画面に戻ります。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。
設定モードに戻る	メニュー(ESC ^)>決定	“ESC” の項目で“決定” ボタンを押すと、“SET”モードに戻ります。
次の項目へ	メニュー	“メニュー”ボタンを押すと次の項目に移行します。

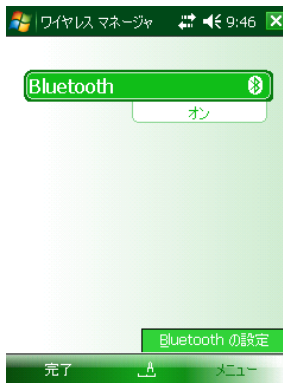
2.5.8 携帯用端末との接続

Bluetooth 接続を可能にする場合は、PDA やスマートフォンなどのマニュアルもあわせてご参照願います。ここでは、一般的な Bluetooth 接続の手順について説明します。(お使いの PDA によっては操作方法が異なる場合があります。)



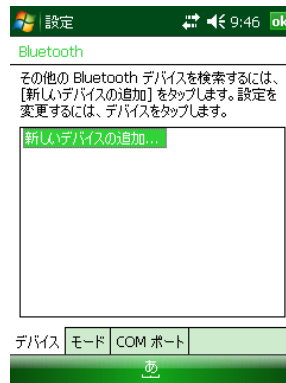
表紙画面の Bluetooth マークをタップして「ワイヤレスマネージャ」を起動する。

⇒



“メニュー”>“Bluetooth の接続”の順にタップする。

⇒

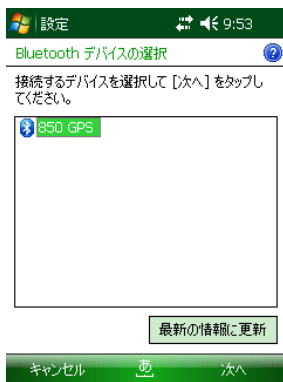


“新しいデバイスの追加...”をタップする。



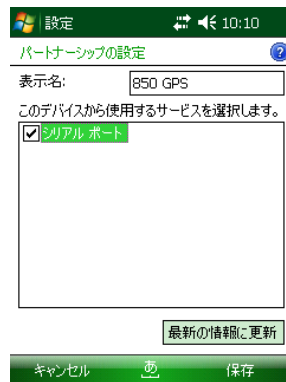
デバイスを検索中。

⇒

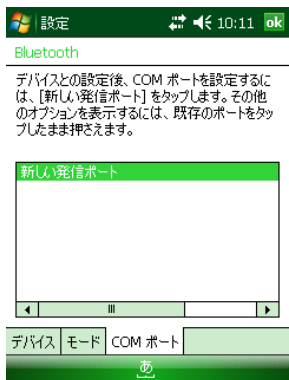


“850 GPS”>“次へ”の順にタップする。

⇒



“シリアルポート”のチェックボックスにチェックを入れて“保存”をタップする。



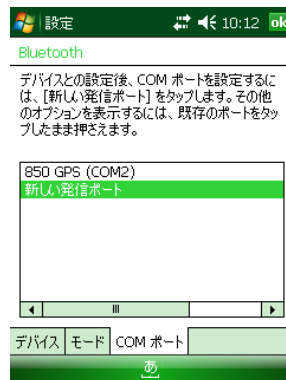
“COM ポート”タブ>“新しい発信ポート”の順にタップする。

⇒



“850 GPS”>“次へ”の順にタップする。

⇒



“850 GPS (COMx)”が表示され、接続設定が完了しました。右上の OK を押して終了。

1. GPS 地図やルートソフトのロード

PDA/ Smartphone/ laptop に地図ソフトウェアが入っている必要があります。本機器をナビゲーションの為に使う前にはそれをインストールしなければなりません。

2. アプリケーションの開始

アプリケーションで正しい COM ポートとボーレートを選択してください。

[注意] ほとんどのアプリケーションでBluetooth装置は“自動検出”する特性があり、ボーレートを選択する必要がありません。

2.5 ファームウェアのアップグレード

TripMateは、お客様ご自身が手動でファームウェアをアップグレードすることができます。このサービスを通じて最新の機能を取り入れて楽しむことができます。


下のステップに従い本機器のファームウェアをアップグレードします。

ステップ1. 最新のファームウェアをメーカー（Transystem社）サイトにあるTripMate850のページからダウンロードします。

メーカー（Transystem社）のTripMate850詳細サイト；

http://www.transystem.com.tw/products/index_detail.php?mcat_no=2&cat_no=33&pno=58&ver=en

あるいは、Phototaggerソフトウェアのメニューバーにある[ヘルプ] > [ソフトウェアアップデート] から検索。

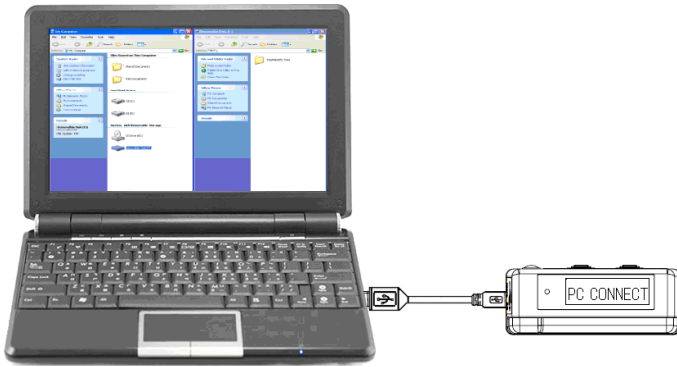


The image shows two screenshots. The left screenshot is from the software's menu bar, with a red circle around the 'ソフトウェアアップデート' (Software Update) option. The right screenshot is from the Transystem Inc. website's 'Download' page, with red circles around the 'GPS', 'GPS Data Loggers', and '852' dropdown menus, and the 'Search' button. Arrows point from the website screenshot to the numbered instructions below.

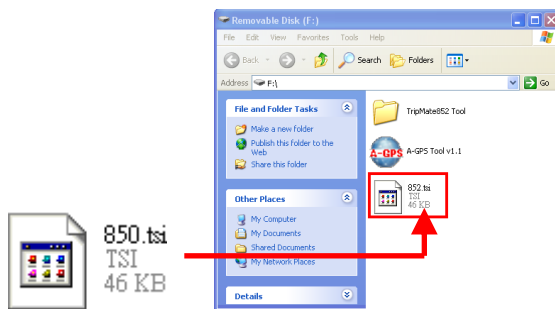
1. 上から順に“GPS”、“GPS Data Loggers”、“850”と選択

2. “Search”をクリック

ステップ2. TripMate852とPC/LaptopをUSBケーブルで接続すると、TripMate852はマストレージ接続が開始されMicroSDカードをエクスプローラーで閲覧できます。

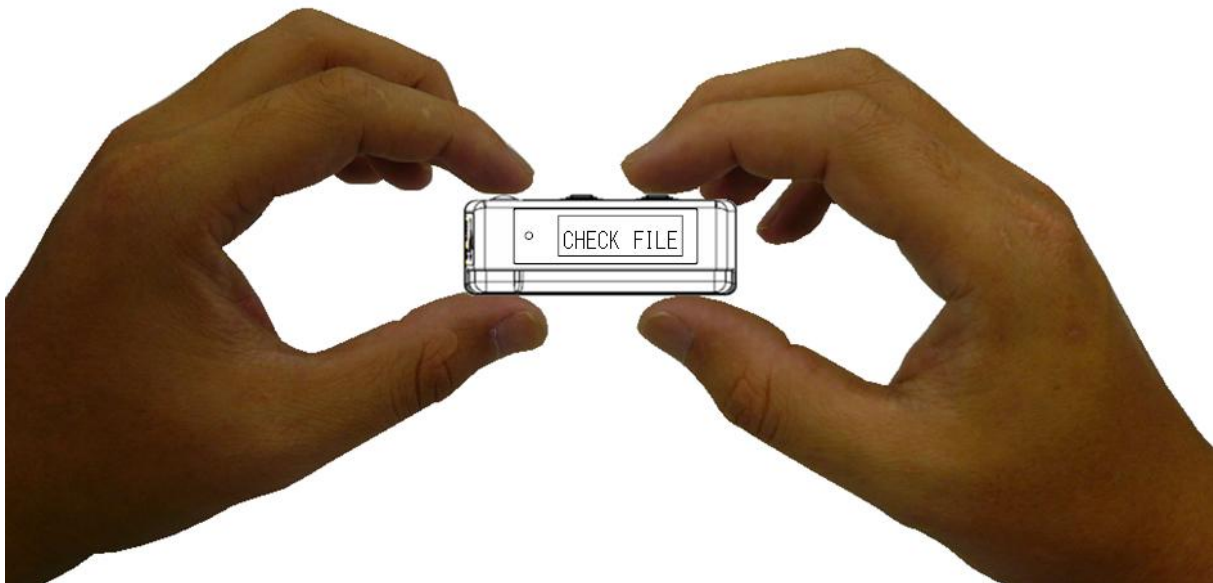


ステップ3. Mico SDカードの初期ディレクトリにファームウェアファイルを保存します。



ステップ4. 上記ステップの跡に、“電源”ボタンをおして電源をオフにします。そして”調整”ボタンを押してそれから”決定”ボタンをおします。

TripMate850 は、ファームウェアのアップグレードを開始します。



Step5. ファームウェアのアップグレードが行なわれている間、本機器はマイクロSDカードの中にファームウェアのファイルがあるかどうかチェックをします。その時画面に“CHECK FILE”と表示されます。ファームウェアのアップグレ

ードが始まると、画面には“UPDATING”と表示されます。アップグレードが完了すると、画面には“UPDATE OK”と表示されます。その後、本機器の電源は自動的にOFFになります。これで、ファームウェアのアップグレードが成功しました。



2.6 Tips

- 本機器を使用しない時は、LED等の耐用年数の為にもこまめに電源をOFFにして下さい。
- 車両によっては窓ガラスに特殊コーティングされており、GPSの受信に影響を及ぼす可能性があります。
- 高層ビル街の走行は、GPS受信に影響を及ぼす場合があります。
- トンネル内や屋内駐車場内、高架下などでの使用はGPSの受信に影響があります。
- 一般的に上空が開けた場所での使用ほどGPSは最高のパフォーマンスを発揮します。天候はGPS受信に影響を与えます。雨や雪は受信状態を悪くします。
- PDA、本機器のバッテリーが極端に少なくなるとGPS受信に影響を与えます。
- お使いのPDAで正しい“COMポート”と“Baud rate”を選択してください。
- 本機器はデータを毎秒で出力します。従ってマップへの位置情報表示に若干の「遅れ」が生じます。これは自動車などの速度が速いほど、またコーナーなどで顕著に現れます。
- 本機器は上空の開けていない室内では動作しない可能性があります。
- はじめて本機器を起動させる時、信号を受信し位置表示するまでに1-3分間ほどかかり、これをコールドスタートと呼びます。バッテリーを外したり、交換した場合このコールドスタートでの起動となります。
- もし20分たっても本機器がGPS信号を受信せず位置表示しなければ他の開けた場所に行って、再度試してみることをお勧めします。

Chapter3. GPSの設定

GpsViewのプログラムは Microsoft Windows のみサポートします。GpsView ソフトウェアの使用にあたって、PCとTripMate850のBluetooth 接続でのみ使用できます。

3.1 GpsView ソフトウェア

GpsViewソフトウェアを開き、正しいCOMポートとボーレート(Bluetooth: 115,200 bps)を選択してください。

3.1.1GpsViewの使用方法

“Setup”をクリックしてください。更新レート1～5Hzが設定可能です。更新レートはNMEAデータの配信速度をあげます。NMEA出力, DGPSなどその他のオプションもプルダウンメニューから選択できます。



更新レートを設定 > Set ボタンをクリックして決定

※更新レートを2～5Hzに設定しても、2～5Hzでログの記録はできません。
ログはログモード設定にて設定した間隔で記録されます。



DGPSを有効にするか、無効にするか選択 > Setボタンで決定

NMEA出力を設定 > Confirmボタンで決定

*NMEA出力設定は、出力されるファイルの出力時間間隔(秒)を設定します。
例えばGGAを5に設定すると、5秒毎にGGAデータが出力されます。

出力されたログデータをファイルに保存する時はStartLogボタンをクリックして保存場所を指定してください。

3.1.2 AGPSダウンロード

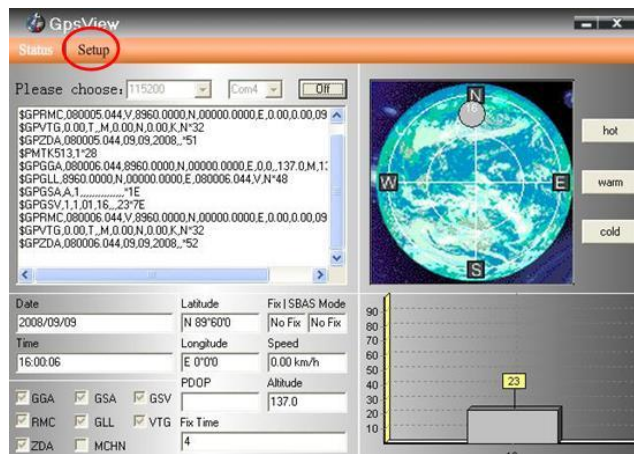
1. PC と TripMat850 を Bluetooth 接続します→Com Port を確認します



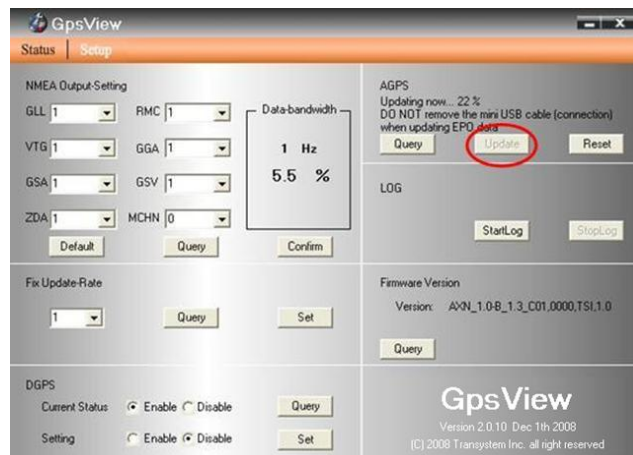
2. “GpsView.exe” を開きます→ Baud Rate と Com port を正しく選択します→ “On”をクリックします



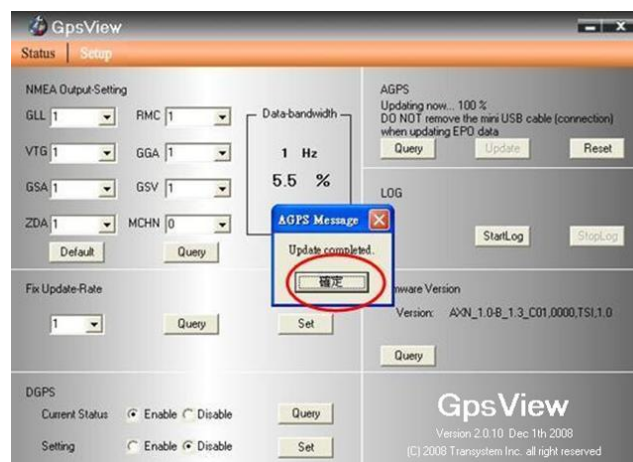
3. “Setup”を選択します



4. “Update”を選択し、AGPS データをダウンロードします



5. アップロード中...100% → “Enter”をクリックして完了します



[注意] GpsView ソフトを使用し、AGPS データをダウンロードする時は、PC と TripMate850 間で Bluetooth 接続のみサポートします。ダウンロードした AGPS データの有効期限は 6 日間です。

Chapter4. Photo Taggerソフトウェアの使用

4.1 Photo Taggerソフトウェアの実行とインストール

GPSフォトタガーのインストールを行ってください。

4.2 Google Earth

PCにGoogle Earthがインストールされていない場合、Google Earthは自由にダウンロードできます。まずインターネットでダウンロードし、さらなる情報は<http://earth.google.com/>でお求めください。

4.3 ソフトの使用方法

Photo Taggerの詳細な機能を使用するには、Photo Tagger ユーザーマニュアルをご参照ください。

Photo Tagger ソフトウェア> ヘルプ > ユーザーマニュアル

mini-USB ケーブルとTripMate850をPCに接続してご使用になるには、本機器の電源をONにする必要があります。

※PhotoTagger ソフトウェアではログデータのダウンロード、ログデータの変換、編集などが行えます。

Chapter5. 電源について

本機器の動作時間はお使いになるバッテリーのタイプにより異なります。下の表のとおり、アルカリ乾電池が12時間と最も長い時間動作をします。したがって、私たちはアルカリ乾電池をお使いいただくことをおすすめします。

AAA Battery	環境温度 (Typical)
アルカリ乾電池	12 hours
充電式バッテリー	11 hours
乾電池	4 hours

付属 A. Locr GPS Photo

Locr GPS Photo は TripMate850 でログしたデータをデジタルカメラで撮影した画像にリンクさせウェブ上に貼り付け共有できるソフトです。

位置情報(緯度、経度)はアプリケーションソフトでの認識のために EXIF ヘッドに書き込まれます。locr GPS Photo では移動経路と写真を結合して地図上に直接表示することができます。

Micro SDカード内のWindows XP/ Vistaへのインストールファイルをご参照ください。詳細情報は <http://www.locr.com> でお調べください。

Date	Name	Latitude	Longitude	Flags
IMG_9113.JPG		23.03.2006 13:15:20	52.27000 10.53200	x
IMG_9214.JPG		23.03.2006 10:50:47	52.25754 10.54344	x
IMG_9215.JPG		23.03.2006 10:51:07	52.26000 10.53250	x
IMG_9216.JPG		23.03.2006 18:51:12	52.26986 10.53256	x
IMG_9217.JPG		23.03.2006 18:51:22	53.54984 9.97326	x
IMG_9218.JPG		23.03.2006 18:51:52	52.26986 10.53256	x
IMG_9398.JPG		23.03.2006 19:25:29	52.26986 10.53256	x
IMG_9401.JPG		23.03.2006 19:25:53	52.27030 10.53397	x
IMG_9402.JPG		23.03.2006 19:25:56	52.27033 10.53420	x
IMG_9403.JPG		23.03.2006 19:26:06	52.27055 10.53485	x
IMG_9405.JPG		23.03.2006 19:26:14	52.27076 10.53531	x
IMG_9411.JPG		23.03.2006 19:26:51	52.27076 10.53711	x
IMG_9414.JPG		23.03.2006 19:28:58	52.27005 10.53725	x
IMG_9415.JPG		23.03.2006 19:27:00	52.27003 10.53723	x

Name	Start date	End date
20070417_192702.TXT	17.04.2007 19:27:35	17.04.2007 19:45:14
20070410_105925.TXT	10.04.2007 23:00:00	10.04.2007 20:03:52
TRIF0001.TXT	23.03.2006 18:58:30	23.03.2006 19:27:25

付属 B. 証明について(英文)

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interface, and
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC RF Exposure requirements:

This device and its antenna(s) must not be co-located or operation in conjunction with any other antenna or transmitter.

NOTE: THE MANUFACTURER IS NOT RESPONSIBLE FOR ANY RADIO OR TV INTERFERENCE CAUSED BY UNAUTHOURIZED MODIFICATION TO THIS EQUIPMENT. SUCH MODIFICATIONS COULD VOID THE USER'S AUTHORITY TO OPERATE THE EQUIPMENT.

CE Notice

CE 0984 

Is herewith confirmed to comply with the requirements set out in the Council Directive on the Approximation of the Laws of the Member States relating to Electromagnetic Compatibility (89/336/EEC), Low-voltage Directive (73/23/EEC) and the Amendment Directive (93/68/EEC), the procedures given in European Council Directive 99/5/EC and 89/3360EEC.

The equipment was passed. The test was performed according to the following European standards:

- EN 300 328-2 V.1.2.1 (2001-08)
- EN 301 489-1 V.1.4.1 (2002-04) / EN 301 489-17 V.1.2.1 (2002-04)
- EN 50371: 2002
- EN 60950: 2000

付属 C. 保証情報

TranSystem 社 GPS 製品をご購入いただきありがとうございます。

ご購入いただいた日から1年間が製品保証有効期間となります。アクセサリーの保証は6か月です。販売業者のスタンプまたはセールスレシートのコピーが保証修理のための購入証明として必要となります。弊社では、正常に使用した場合のみ修理または部品交換します。そのような場合の修理や交換はお客様には無償です。通常環境以外でのご使用、落下・水没、事故などによる破損・故障は保証の適用とはなりません。製品保証有効期間内であっても弊社への故障品の返送、弊社-メーカー間の送料についてはお客様にご負担いただいております。ご了承をお願いいたします。

本保証は、本機器の使用によるバッテリーの消耗、または製品の誤用から生じるどのような損害賠償、損失に対して責任を一切負いません。